

第 18 回企画委員会議事要旨

日時 2020 年 10 月 6 日 15:00～17:00

場所 zoom にて開催

出席者 駒村委員長、丸物委員、村木委員、久保寺委員、池田委員、有村委員、朝日委員、
奥田委員、西岡委員、山田委員、日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

年内開催予定の全体委員会で検討をお願いする事項(①2020 年 11 月までのプロジェクト実施状況、②2020 年度後半の事業計画、③ダイバーシティ就労推進フォーラム構想)ならびに海外状況整理部会と経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス検討部会との 2020 年度の検討方針について事務局からの報告をもとに意見交換がされた。また、ダイバーシティ就労支援機構が 9 月末に行ったHPの改定について事務局から報告があった。

「新型コロナウイルスのダイバーシティ就労への影響把握調査」の実施について、前回企画委員会に引き続き議論した。アフターコロナの状況が十分見通せると判断できる時期に、アフターコロナにおける状況と必要な対応を探る調査を実施するとした場合、コロナ後だけでなく、コロナ渦中(ウィズコロナ)関係の質問も最低限加えることとし、就業者個人に直接聞くことは難しいので事業所調査にするが、事業所の経営状況ではなく、就業者・利用者の状況、就業者・利用者に対する支援状況にポイントを置いた調査をすべきだとの意見が多かった。

また、WORK! DIVERSITY プラットフォーム構想について、前回に引き続き、意見交換が行われた。日本財団Work! Diversityプロジェクトの到達目標は、障害者に限らず、多様な働きづらい人々向けの多様で良質な働く場が多様な形で整備され、実際働く人々が増えることが実現することであることが確認され、そのため、必要な施策の実現を目指すとともに、基本サポートサービスが確実に提供される環境整備を行うことが重要で、WORK! DIVERSITY プラットフォーム構想を積極的に推進しよう、ということになった。